



芝山小だより



4月号

清瀬市立芝山小学校

校長 寺井 俊敬

<http://www.kiyose.ed.jp/>

笑顔と活気あふれる学校をめざして —新年度のスタートと本年度の学校経営について—

校長 寺井 俊敬

満開に咲き誇った桜も散り始め、春の深まりとともに木々の緑に心躍る季節を迎える今日、ピカピカの1年生が入学してきました。どの子も緊張の面持ちで、精一杯胸を張って、50名が立派に入学式を迎えました。

手塩にかけて育ててこられたお子様のご入学、誠におめでとうございます。これから6年間、教職員一同心をこめて全力でお預かりします。保護者の皆様には、学校へのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

入学式に先立って行われた始業式では、どの学年の子供たちも大変立派な態度で式に臨むことができました。学年によっては、新しい学級、新しい担任の先生に胸をわくわくさせたことでしょう。

いよいよ新年度のスタートです。

令和3年度は、新1年生を含め全校児童333名、12学級のスタートとなりました。

私は今年度西東京市立保谷第一小学校から異動してまいりました校長の寺井俊敬と申します。前任の清水一臣校長が築かれた芝山小の良き伝統を受け継ぎ、保護者・地域の皆様との連携を密に図りながら、さらにより良い学校にすべく全力を尽くしてまいります。どうぞ今後とも学校へのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年度は退職・異動等もあり、講師も含め、総勢40名の教職員で学校を運営して参ります。

さて、今年度も新型コロナウイルス感染症に対応した教育活動になります。年度のはじめに予定した計画が、延期や中止、工夫しての活動となることが考えられます。その都度、お便り、一斉メール、HP等でお知らせいたします。

また、今年度は、年度の途中になりますが、GIGAスクール構想に基づくタブレットが配布されます。今年度はこのタブレットをいかに活用していくかが、学校の課題の一つでもあります。他地区では、すでにタブレットを導入しているところもあります。『タブレットを学ぶ』、ではなく『タブレットで学ぶ』ために、先行して実施している学校の良さや課題を教職員で研究して参ります。そして、これまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、子供たちの力を引き出せる教育活動を一步一步着実に展開して参ります。

そして、学校教育目標を

○よく考え、それをやりぬく子 ○より明るく、みんなと仲良くできる子 ○そして強く、心身ともに健康な子

と設定し、

公教育に携わる教職員としての職責を自覚し、一人一人が元気に輝き、確かな学力と豊かな心をもった自立する児童の育成を図るとともに、健康で安全な教育環境を整え、保護者・地域から信頼される学校づくりを目指す。

を学校経営の基本理念とし、

- (1) 子供の安全・安心を保障し、どの子にも居場所がある楽しい学校＝**安心**
- (2) 保護者が安心して我が子を預けられ、保護者・地域とコミュニケーションを大切にできる学校＝**信頼**
- (3) 子供と共に学び、常にプラス思考で、教職員の専門性が発揮できる学校＝**充実**

を目指して、教職員一同力を合わせ、笑顔と活気あふれる学校をつくってまいります。今後も様々な取組みについて、この『芝山小だより』で紹介して参ります。保護者・地域の皆様におかれましては、引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。